

2010年3月26日
住友商事 特別顧問
島崎 憲明

IFRS導入に関する諸課題への対応

(IASB 対応検討委員会、国際対応委員会、IASCF トラスティとしての活動)

【IASB 対応検討委員会の活動】

◎ IASB 対応検討委員会の役割

IFRS 採用を見据え、IFRS の個別基準の動向について誤解のない共通の認識を得ることによって、我が国関係者から IASB に意見発信する際に、可能な範囲で、整合性を確保し、意見発信力を強化する。

◎ IASB 対応検討委員会の活動実績

- ・ IAS 第 39 号の金融商品会計の改訂に対する All Japan としての意見取纏め
↳ IFRS 第 9 号において持合株を OCI 処理する特例と
配当金の P/L 計上が認められた
- ・ IFRS 導入準備タスクフォース、IFRS 実務対応グループ など、IFRS 導入サポート体制の確立、意見発信の為の仕組みづくり
- ・ IFRS の円滑な導入に向け、非上場会社会計基準に関する懇談会の設置の検討

【国際対応専門委員会の活動】

◎ 国際対応委員会の役割（平成 22 年 1 月に IASB 検討委員会を改組）

上記 IASB 検討委員会の役割に加え、以下の役割を負うものとする。

日本の国際的なプレゼンスを向上させることを目的として、国際的な組織への働きかけ、国際会議に関する支援、国際的な会計人材の育成、国際広報を行うに当たっての方針を検討する

◎ 国際対応委員会の活動実績、活動予定

- ・ IASCF サテライトオフィスの東京への誘致にむけた招致活動
- ・ アジアオセアニア諸国との緊密な連携を可能とするための活動
オーストラリア訪問、インド訪問 → 日印フォーラム(仮称)
- ・ 新たな基準改訂の動きに対する、重層かつ迅速な対応
官、民一体となったあらゆるレベルでの対応（退職給付会計・IAS 第 37 号、CF 計算書等）

【IASCF トラスティとしての活動】

◎ 日本の安定した資金貢献のアピールと、フェアな負担の要求

◎ さらなる安定した資金基盤の確立（FASF 経由での資金収集と見合ったサービス）